PHILIPS

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
ライティング事業部　ゼネラルライティング
〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル　TEL (03) 3740-5156　FAX (03) 3740-5163

Rev:01

iW MR gen3
アイダブリュー エムアール ジェネレーション3
ユーザーガイド　取扱説明書

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

この度はiW MR gen3をお買い上げいただき、誠に有難うございます。このユーザーガイドではiW MR gen3の操作方法および安全な使用方法についての重要事項を説明しています。

iW MR gen3を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずユーザーガイドをお読み下さい。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管して下さい。

箱には以下のものが入っています。
• iW MR gen3　　1個

本製品をご使用になるには、
専用のデータ兼用トランス（別売）をご用意下さい。
• パワー/データサプライPDS-70mr24V

接続器具について
iW MR gen3は、GU5.3またはGX5.3ソケット（標準MR16型ピン）を使用した器具に取り付けることができます。
詳しくは器具メーカーの取扱説明書をご覧の上、サイズをご確認下さい。取り付けの際は、器具メーカーの取扱説明書に従ってiW MR gen3のピンを器具のソケットの奥まで確実に差し込んで下さい。

注意
• トランス付属タイプの器具はご使用出来ません。
• 同じレールやトラック上に他のランプを取り付けないで下さい。
• iW MR gen3本体からの発熱がありますので、器具に組み込む場合は、必ず事前に温度検査を行って下さい。

1. はじめに

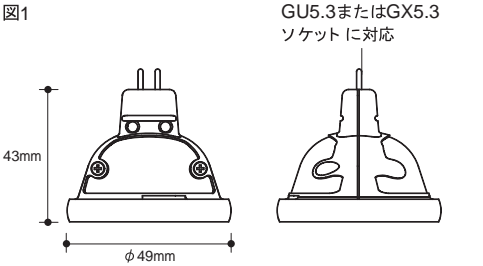
◆ 1-2 アドレスの設定
iW MR gen3のアドレスは出荷時ライトナンバー「1」に設定されています。コントロール方法および使用する専用パワー/データサプライPDS-70mr24Vのタイプによって、適宜アドレスを設定して下さい。

• PDS-70mr24Vプログラム内蔵タイプ：
チェイシングレインボーのプログラムを使用するときのみ、事前のアドレス設定が必要となります（※）。それ以外のプログラム（固定色、カラーウォッシュ、ランダムカラー）ではアドレス設定の必要はありません。

• PDS-70mr24V DMXタイプ：
アドレスを設定する際は、アドレス設定サポートサービスをご利用いただくか、iPlayer 3のアドレス設定機能をご利用ください。

注意
iPlayer 3でアドレス設定を行う場合、まずはじめにiPlayer 3の「再生モード」でライトの点灯を確認してからアドレス設定を行います。All Same AddressとBy Serial Numberでの設定が可能です。
ただし、ライトアドレスのテストを実行してもライトが正しく反応しない場合は、iW MR gen3 のピンを反対に差し込み直し、再度設定を行ってください。

• PDS-70mr24Vイーサネット タイプ：
イーサネットタイプは、専用コントロールシステム、Light System Manager（ライトシステムマネジャー／LSM）につないで使用します。LSMがイーサネット上で接続したライトやパワーサプライの情報を認識し相互データ通信を行うため、アドレス設定の必要はありません。

◆ 1-1 製品の寸法
図1

2. 設置方法

注意
• 専門の電気工事業者の指示に従って設置して下さい。
• 電源は配線を終了してから入れて下さい。
• 通電状態でiW MR gen3の取替えを行わないで下さい。
• iW MR gen3を取り付ける器具はサイズや形状をよく確認の上、適切な器具を選び器具メーカーの取扱説明書に従った正しい取り付け・配線を行って下さい。なお、トランス付き器具では使用出来ません。
• 器具を閉じ込めた状態や通気の悪い状態でのご使用は避けて下さい。
• 使用環境条件をご確認下さい。［温度 -5℃～35℃、湿度0～95%結露なし、表面温度75℃］
※ランプ本体から発熱がありますので、器具に組み込む場合は、必ず事前に温度検査を行って下さい。

◆ 2-1 設置位置の決定
※施工業者と打合せの上、事前に取付方法をご確認下さい。
パワー／データサプライPDS-70mr24VとiW MR gen3の配置関係を決定します。
• PDS-70mr24V一台に接続可能なiW MR gen3 は14個までです。
• PDS-70mr24Vから系統末端のiW MR gen3までの合計距離は、15m以内であるようにして下さい。
• 設置前に、配線図を作成し、各灯具のシリアルナンバーとライトアドレス、および対応するパワー／データサプライの配置を記録しておくことをおすすめします。

◆ 2-2 iW MR gen3の器具への取付
注意
iW MR gen3 1個の重量は90gです。通常のご使用や振動においても、iW MR gen3 自身の重みで取り付け状態が甘くなることがあります。取り付ける器具は必ず保護ロックが付いたものを選んで下さい。
• iW MR gen3は、GU5.3またはGX5.3ソケットに取り付け可能です。
• 器具メーカーの取扱説明書に従い、正しく安全にiW MR gen3を取り付けて下さい。
• トランス付属タイプの器具ではご使用になれません。iW MR gen3 専用のパワー／データサプライPDS-70mr24Vがダウントランスの機能を果たします。

◆ 2-3 PDS-70mr24Vへの接続
• 0.75mm²～2.0mm²の二芯被覆付きケーブルまたは適切に配線されたソケット（GU5.3またはGX5.3）にiW MR gen3をつなぎます。ケーブルには必ずより線を使用し、単線は使用しないでください。
• 次に、そのケーブルをPDS-70mr24Vに接続します。PDS-70mr24Vの2ピンの端子台に配線して下さい。
※PDS-70mr24Vの端子台は無極性です。どちらの端子にどちらの電極のワイヤを結線しても構いません。
• 配線口には、適切なパーツを用いてケーブルの保護を行ってください。

◆ 2-4 データの接続
データの接続方法は、使用するPDS-70mr24Vのタイプによって異なります。
ー図3：プログラム内蔵タイプ
ー図4：DMXタイプ
ー図5：イーサネットタイプ

• PDS-70mr24Vプログラム内蔵タイプでは、あらかじめ数種類のプログラムがセットされています。PDS内部のボタンでプログラムの選択・調整を行います。
※PDS-70mr24Vプログラム内蔵タイプには、DMXデータの出力ポート（DMX OUT）も備わっているため、2台目以降にPDS-70mr24VDMXタイプを送り配線することで、複数台のPDS-70mr24Vに接続されたライトを1台目のPDSに内蔵されたプログラムでシンクロナイズドコントロールすることも可能です。
接続方法やプログラム内容の詳細については、PDS-70mr24Vの取扱説明書をご覧下さい。

• PDS-70mr24V DMXタイプは外部DMXコントローラーからのデータを受け取ります。フィリップスの専用コントローラーおよび専用ソフトをご利用下さい。

• PDS-70mr24Vイーサネットタイプはフィリップスの専用イーサネットシステム、Light System Managerで使用します。詳細はお問合せ下さい。

3. 用語解説

◆ ライトナンバー（アドレス）とDMXアドレス
本製品はライトナンバー（アドレス）として1～170まで別々の設定が可能です。DMXアドレスでは1灯につき3chが必要で、170灯で510chを使用する事になります。
ライトナンバーとDMXアドレスの関係は以下の通りです。

ライトナンバー	1			2			//	169			170		
DMXアドレス	1	2	3	4	5	6		505	506	507	508	509	510
対応色	W	C	-	W	C	-		W	C	-	W	C	-

W:2700K　C:5700K

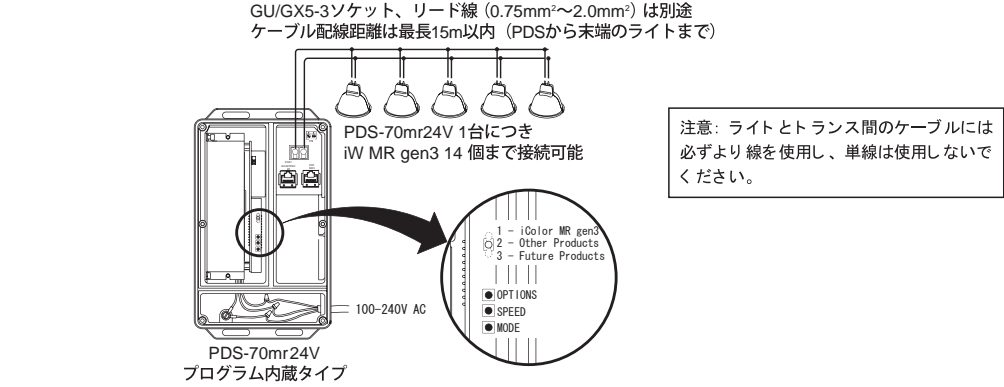
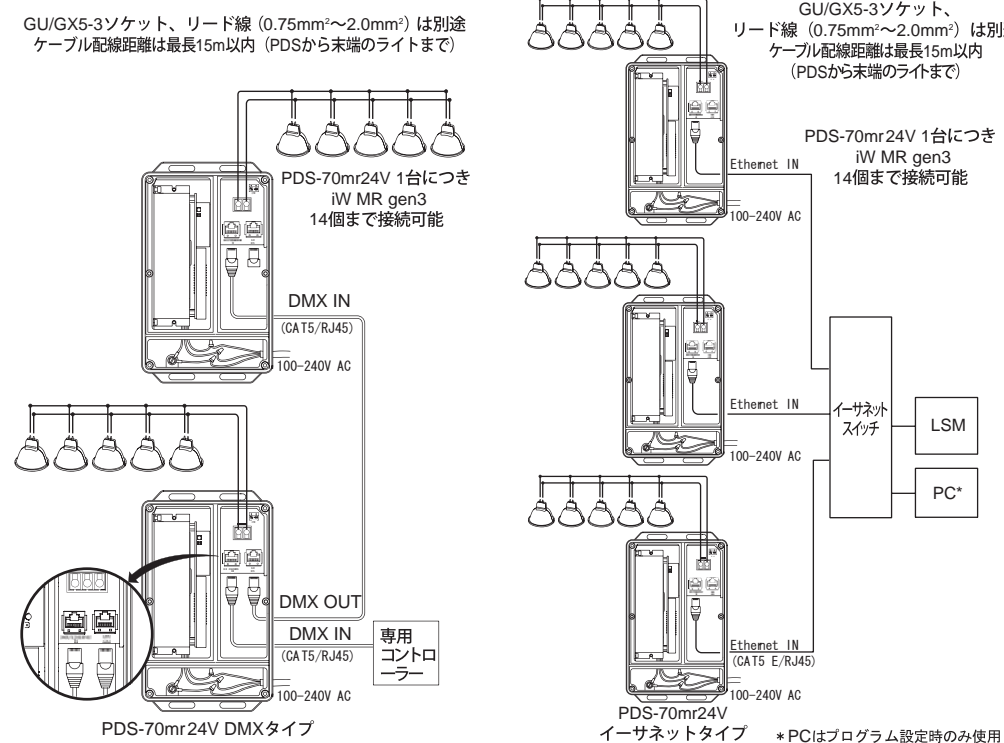
◆ DMXとDMX512
DMXはDigital MuliplеX（デジタル多重送信システム）の略。
異なるメーカーの照明コントロール機器の相互接続を可能にしたデータ送信の規格です。DMX512プロトコルは照明操作卓から調光を行うためのインターフェースの規格を作るためにUSITT（米国演劇協会）の委員会で1982年に開発されました。

◆ イーサネット
複数のコンピュータを接続するための通信規格。Light System Managerでは独自のネットワークを構築します。

図3 プログラム内蔵タイプ

図4 DMXタイプ

図5 イーサネット タイプ

GU/GX5-3ソケット、
リード線（0.75mm²～2.0mm²）は別途
ケーブル配線距離は最長15m以内
（PDSから末端のライトまで）
PDS-70mr24V 1台につき
iW MR gen3
14個まで接続可能
Ethernet IN
100-240V AC
Ethernet IN
100-240V AC
イーサネット
スイッチ
LSM
PC*
Ethernet IN
(CAT5 E/RJ45)
100-240V AC
PDS-70mr24V
イーサネットタイプ
＊PCはプログラム設定時のみ使用

4. 定格・使用環境

・定格

定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
DC24V	0.2A	5W 最大

・使用環境

場所	温度	湿度
屋内	-5℃～35℃ 器具表面温度 75℃まで	0%～95% 結露なし

5. 安全上のご注意

◆ 照明器具のご使用について

警　告

火災のおそれがあります
・ 不安定な場所で使用しないでください。
・ 器具を布・紙などでおおったりしないでください。また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないでください。

感電・ 火災のおそれがあります
・ 器具及び部品の改造をしないでください。
・ 器具のすきまに、異物（金属や燃えやすい物など）を差し込まないでください。

・ 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードに重いものをのせたり、電源具に近づけたりしないでください。

感電・ 火災のおそれがあります
・ 異常時（煙が出たり、変なにおいがする等）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。

感電のおそれがあります
・ 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

注　意
• 必ずメンテナンス可能な場所に設置してください。
• 器具を水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
• 器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。
• 器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
• 屋内用器具ですが、風呂場等の湿気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用できません。故障、事故の原因となります。
• 器具の表面に鋭利なものが当たらないよう、設置環境にご注意下さい。
• 器具の保守・お手入れ等で、無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないで下さい。器具の転倒や落下によるけがの原因となることがあります。
• ランプの着脱の際は、両手で静かに扱い、取付は確実に行ってください。落下によるけがの原因となることがあります。
• 明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に一度程度）清掃、点検して下さい。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べ下さい。発火・火災の原因となることがあります。
・ 当製品の使用可能条件の温度は-20℃～40℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、温度が35℃以上の高温下でご使用になりますと著しく寿命が短くなる原因となります。
・ 当製品の保存可能条件の温度は-20℃～70℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、範囲外の温度での保存は短寿命または故障の原因となることがあります。

お願い
• ぬれた手で器具にさわらないで下さい。
• 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジンなどの揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないで下さい。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いた柔らかい布で仕上げて下さい。
• お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる場所に、大切に保管して下さい。ご不明点がありましたら、販売店にご相談下さい。

6. 保証について

本製品の保障期間はお買い上げ日より5年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きに従った正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換させていただきます。お買い上げの販売店もしくは㈱フィリップスエレクトロニクスジャパンまでご連絡下さい。（尚、特別に訪問を行った場合や引取サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。）

保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承ください。
• ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
• 火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
• 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
• お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷の場合。
• 年間4000時間以上の長時間使用の場合。

◆ 米国内及び海外での特許申請
当社は、当社の照明製品および制御装置の購入者に対し、クロマコアを個人的にしようできるが譲渡不可能な使用権を許諾しています。クロマコアは当社が特許を取得した技術で、イルミネーション、ディスプレー、およびデザインに使用されるLEDベースの色変化照明器具をネットワーク上で制御できる技術です。この使用許諾権は当社だけがその付与を認めるべきものであり、当社の承認なしに譲渡することはできません。LEDベースの色変化照明をネットワーク制御する技術を使って、他の製品を設計、複製、製造、または販売することは禁止されるかもしれず、また、そのような行為はこの文面では許可されていません。